

(開基):永禄7年(1564年)3月25日、野場郷字前田に建立。→434年経過。

・吞霊上人:元和2年(1616年)没

・臼居奎右衛門:天正18年(1590年)没

#### 7. 徳川天領:

検地 ・法度、お触書 等による郷村支配。

代官の統治:→旗本の知行地→松平、細川、堀田等の大名領→幕末天領(代言:江川太郎左衛門)

#### 8. 野場郷、上・下野庭村に分村

○年貢、公課の徹底と統治の完全→郷村帳、国絵図の調整(正保年間(1644年))→40数年間

・正保改定図には上下二村に分けて明記していないが、元禄改定図には上野庭村、下野庭村と明記されているので、上・下と分かれたのは正保年間(1644~1647年)から元禄年間(1688~1703年)までの間である事がわかる。

○元禄年間(1688年)全国地図の校訂→相州上野庭村、下野庭村(字句も野庭とある。)

・元禄15年の石高:385石7斗4升6合

・村名主(庄屋)、村年寄、5人組

#### 9. 明治以後の変遷

○政府の方針:明治4年(1871年)村の組み合わせ変更。組織、呼称は第〇〇区会所、第〇〇番組。

上野庭村:鎌倉郡中田村に設けられた第17区会所の下に、

上・下野庭村と上・下倉田村の4ヶ村が第2番組に編入。

組合所は上野庭村にあり、組戸長に臼居藤八が任命。

戸籍、兵役、貢租などの事務が実施された。

明治12年(1879年)上・下野庭連合戸長役場

明治22年(1889年)町村制の法令発布により、連合戸長役場も解散、

上・下野庭村

上・下永谷村 が合併、永野村が誕生。(地形・水流等の状況から勘案)

○明治末~大正~昭和の初期:農村地帯

(明治になっても野庭のように特産物もない村は住居の改築、増築の余裕がなく、江戸時代と変わらぬ粗末な住居のままのところはかなり有った。……)

・明治10年:野庭学校創立:上野庭字前田町1698番地

・明治12年:永谷学校創立:永野村字八木2690番地 →明治25年鎌倉郡永野学校(上永谷町)

#### 10. 永野村横浜市に合併:昭和11年(1936年)横浜市中区へ編入

昭和18年(1943年)中区より分離し、南区として独立。

昭和44年(1969年)港南区として独立。

・昭和38~45年頃:野庭町、永谷町の通称原、山野・田畑の広域が京急不動産により宅造開発。(現 日限山住宅地)

・昭和40~45年頃:野庭町三谷から鍛冶ヶ谷、小菅ヶ谷の地域が野村不動産等により宅造開発。(現 野村港南台住宅地)

・昭和47年前後:上・下野庭町、深田、宮久保、関城など市住宅供給公社による大規模な宅造開発(現 野庭団地)